

九州運輸局メールマガジン

平成22年6月24日 第87号（発行日：毎週木曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（6月17日～6月23日掲載分）
 - 各種情報
 - 分野別情報
 - 報道発表
 - お知らせ
- 2 現場レポート
- 3 リレーコラム【鹿児島運輸支局大島自動車検査登録事務所長 宮崎 住男】

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（6月17日～6月23日掲載分）

各種情報

《九州のうんゆ》

・九州のうんゆ/2010年3月号

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/22_3.pdf

《入札・契約情報》

・物品・役務入札公示（6/17付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

・企画競争結果の公表（6/17付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/100622.pdf

・企画競争実施予定情報の公表について（6/22現在）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_100622-2.pdf

《九州統計情報》

- ・ 旅客船・貨物線関係/管内の日韓旅客定期航路輸送実績

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaiji/file01/file01_11.pdf

分野別情報

《海事》

- ・ 旅客航路事業の申請処分状況

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/ryokakukouro/2203.pdf

《バス・タクシー・トラック》

- ・ バスの申請公示状況（6 / 21 付け公示分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/k_220621.pdf

報道発表

- ・ 中国深セン市において、6月21日（月）から27日（日）までの間を「九州ウィーク」として九州の魅力を発信します。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0617-1347-43.pdf>

- ・ 環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰
～優れた取り組みを行っている事業者をたたえて顕彰～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0621-kankyo.pdf>

- ・ 大分地域造船技術センターで終了式
～若き造船マン25名の旅立ち～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0623-kaijisennpaku.pdf>

- ・ 平成22年度「夏季安全総点検」の実施

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0623-unroukan.pdf>

お知らせ

- ・ 平成22年度 整備管理者選任前研修の開催日程について（前期分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-0526-1032-43_2.pdf

2 現場レポート

交通エコロジー教室を開催しました！

九州運輸局交通環境部環境課においては、6月22日に福岡市立高木小学校で「交通エコロジー教室」を開催しました。

この教室は、小学5・6年生の総合学習を利用したもので、福岡大学の浅野教授に講演を依頼して、例年10・11月頃に開催していました。

今年度は福岡県内4校、熊本県内2校で開催する予定ですが、高木小学校から1学期中に開催してほしいとの要望があったことから、先行して運輸局職員による教室の開催となりました。

教室には5年生2クラス67名の児童に参加してもらい、まず、九州運輸局の仕事について簡単な説明をした後、昨年の浅野教授のお話をベースに「バスや電車に乗って地球の温暖化を防ごう」と題したテーマで、地球温暖化問題について説明しました。

その中の内容のひとつで、青い地球が2100年に向かって段々と暑くなり、真っ赤になっていくという、地球温暖化シミュレーションの映像を見てもらったときには、「うわ～、死んじゃうよ！」と声があがり、実感がわきにくい地球温暖化問題を身近に感じてもらうことができたようです。

後半は、環境省が進めるチーム・マイナス6%から発展したチャレンジ25キャンペーンにおける省エネや温暖化防止に有効な取組み方法を紹介し、さらにバスや電車といった乗物がマイカーに比べてより地球に優しい乗物であり、賢くマイカーと公共交通を使い分けていこうと呼びかけて終了しました。

高木小学校の5年生は、1年間を通して環境学習に取り組むとのことであり、夏休み中に自分でできるエコな取組みを考えて実践する課題が出されるそうです。

この教室での話を聞いて、夏休みにバスや電車で出かける家庭が増えてくれればいいな、と思います。

(交通環境部 環境課)

3 リレーコラム

奄美には、今年4月に赴任してきました。以前2度出張で来たことがありましたが、フェリーで移動したのは今回が初めてでした。船から紙テープを投げての別れのシーンは、テレビとかで見た記憶がありましたが、いざ目の当たりにすると、別れの相手は自分とは関係ないのですが、胸にこみ上げてくるものがありました。この紙テープの別れのシーンは、離島航路の各港では、現在でも続いているということを着任してから聞きました。

鹿児島港を出港すると、約11時間かけて翌日の早朝5時に名瀬港に到着するのですが、最初は「寝てしまえばすぐ着く」と考えていました。隣の寝台のお客から話を聞いていると、「出港から2時間して外洋に出ると、座ってられないように揺れる」と教えられ早く寝ましたが、寝過ごすと沖縄まで行ってしまうので安心して眠るわけもいかず、うとうとしている間に名瀬港に到着しました。

着任して数日後に奄美大島南端の瀬戸内町まで行った時のことです。道中は、道路整備が結構なされているのですが、トンネルが多く、それも結構長いのです。平坦な土地はあまりなく、海岸線沿いは崖(山)が多いので、道路整備するとトンネルが増えるのでしょうか。道路のすぐ横は山が迫ってきて、うっそうとした木々で覆われ、熱帯地方に多い大きなシダ類の木も多く茂っています。こんなところに入ると、かの有名な「ハブ」と対面するのでしょうか。絶対に藪へ近づかないようにしようと思い決めました。

また、瀬戸内町までの途中に、奄美の観光案内でよく見るマングローブの林があり、休憩場所が道路沿いに設置してあったので、車を停めて眺めたところ、これもパンフレットとかで見る風景そのものでした。マングローブの林を通り過ぎてしばらく走ると、山の中から海が見える坂の上に出るのですが、そこから見える海の風景がすばらしいのです。目的地に着いて、付近から見える風景も、きれいな海の向こうには島があり、絵になるものばかりです。

街の近くも自然が多く残っており、とにかくきれいな風景があります。海岸には砂浜があり、最近、半都会化した田舎でよく見かける人工のビーチと違い、砂もきれいで、海岸の崖にぶつかり白く砕け散る波と手前に広がる白い砂浜が続きます。さすがに、海岸にゴミ一つもないかという点、漂流してきて海岸に打ち上げられたゴミはありますが、外洋から流れてくるゴミは仕方ありません。海水の透明感が九州本土と全く違います。私も、田舎の海辺で育ったので多少きれいな海を見てきましたが、まったくの別物です。海水もきれいなのですが、海底の砂もきれいなので太陽光を反射して目に映る海面の色が全く違い、優しいエメラルドグリーンの色をしています。

せっかく離島での勤務になりましたので、先ほど述べた自然も楽しみたいですが、奄美と言えば「黒糖酒」、与論献捧はあまり経験したくありませんが、「郷には入りては郷に従え」とあるように、慣例は慣例として受け入れ、また、島でしか味わえない食を経験して限りある離島での勤務を楽しみ、自然のありがたみを

体で感じたいと思います。

(鹿児島運輸支局大島自動車検査登録事務所長 宮崎 住男)

【編集部より】

編集部では、新着の報道発表資料やその他の情報を発信します。

皆様のお知りになりたい情報やご意見・ご要望等ございましたら、お気軽に編集部までご連絡ください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

藤原 寿男（ふじわら としお）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html